

# 介護職員実務者養成科 (短時間)

訓練コース番号 ( 5-08-46-002-05-0039 ) 実践コース

訓練実施機関名 : 有限会社ウェルフェア

1. 「介護福祉士国家試験」の受験には、実務者研修修了が必須！！  
平成28年度の介護福祉士国家試験から受験資格として、実務経験3年に加えて実務者研修の修了が義務付けられました。
2. サービス提供責任者になれる！！  
訪問介護事業所で必ず配置されるサービス提供責任者になるためには、実務者研修の修了が介護福祉士の資格が必要になります。
3. たん吸引や経管栄養（医療的ケア）が学べる！！  
原則として医師や看護師以外に認められなかった、たん吸引や経管栄養の基礎知識を学ぶことができます。
4. 豊富な施設で職場見学、実習ができる！！  
グループ法人に介護サービス事業所を20ヶ所以上保有しており、希望先の中から実習先を選択可能です。



受講料  
無料

教材費11,000円(税込)  
※自己負担

## 訓練内容

在宅介護や施設介護において、利用者の状態像に応じた介護や日常生活の支援、自立支援、医療的ケアに関する知識及び技能・技術を習得する。

## 訓練目標

介護サービス事業所で即戦力として活躍できる人材育成を目指し、介護サービスの実践的な知識及び技能を習得する。

## ●訓練期間 令和8年9月10日～令和9年3月9日

(月～金：9時15分～15時30分 土日祝休)

## ●募集期間 令和8年5月26日～令和8年8月19日

- ◆定員：24名 ※定員に満たない場合は訓練を中止する可能性があります。
- ◆取得資格：介護福祉士実務者研修修了者
- ◆自己負担額：受講料無料 ※テキスト代11,000円(税込)  
※職場見学(1日間)実習(2日間)への交通費、健康診断にかかる費用は実費
- ◆申し込み方法：令和8年8月19日までに最寄りのハローワークで職業相談手続き後、受講申込書および写真(3×4cm)を有限会社ウェルフェアへ提出。  
※郵送の場合は8/19必着。持参の場合は17時まで。

感染症防止対策  
・入室前の体調管理  
・消毒液の設置  
・マスク着用  
・定期的な換気

選考日：令和8年8月26日(水)

選考会場(訓練実施場所)：有限会社ウェルフェア

※駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください。  
(訓練開始後は限定5台の安価な駐車場のご案内をしております。)

選考方法：筆記試験及び面接 ※筆記用具をお持ちください。

選考結果通知日：令和8年8月31日(月)



有限会社ウェルフェア

〒890-0056

鹿児島市下荒田1丁目8-11松久保ビル2階

TEL 099-286-0702

FAX 099-286-0703

mail : info@welfare-kaigo.com

担当：島子・竹下 【8:30～17:30 月～金】



電停から  
徒歩3分

Instagram、YouTubeで  
訓練の様子を  
チェックできます！



訓練カリキュラム

訓練実施機関名: 有限会社ウェルフェア

(様式A-9)

訓練概要	在宅介護や施設介護において、利用者の状態像に応じた介護や日常生活の支援、自立支援、医療的ケアに関する知識及び技能・技術を習得する。 【短時間】【職場見学等推進】				
	科目	科目の内容			訓練時間
訓練内容	就職支援	ジョブカードの作成支援、就職活動の進め方、履歴書・職務経歴書の書き方、面接技法			8時間
	介護職務の理解	安全衛生、多様なサービスの理解、介護職の仕事理解や働く現場の理解			5時間
	人間の尊厳と自立	人間の多面的な理解と尊厳・自律の支援・人権と尊厳			5時間
	社会の理解Ⅰ	介護保険制度創設の背景と目的・基礎的理解・専門職の役割、介護施設における守秘義務、個人情報データの取り扱い			5時間
	社会の理解Ⅱ	生活と福祉・地域共生社会の実現に向けた制度や施策、社会保障制度、障害者総合支援制度・介護実践にかかわる諸制度、介護報酬の取扱い			30時間
	介護の基本Ⅰ	介護福祉士の役割と機能、尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開、介護福祉士の倫理			10時間
	介護の基本Ⅱ	介護を必要とする人の生活の理解と支援、介護実践における連携・介護における安全の確保とリスクマネジメント・介護従事者の安全			20時間
	コミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション、コミュニケーション技術、介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームマネジメントとコミュニケーション			20時間
	生活支援技術Ⅰ	生活支援とICF、居住環境の整備と福祉用具の活用・移動・移乗・食事・入浴・清潔保持・排泄・着脱・整容・口腔清潔の生活支援技術の基本、家事援助の基本			20時間
	発達と老化の理解Ⅰ	こころの変化と日常生活への影響・からだの変化と日常生活への影響			10時間
	発達と老化の理解Ⅱ	人間の成長・発達、老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多くみられる症状・疾病等			20時間
	認知症の理解Ⅰ	認知症ケアの理念と視点、認知症による生活障害、心理・行動の特徴、認知症の人とのかかわり・支援の基本			10時間
	認知症の理解Ⅱ	医学的側面からみた認知症の理解、認知症の人への支援の実際			20時間
	障害の理解Ⅰ	障害福祉の理念、障害による生活障害、心理・行動の特徴、障害のある人や家族へのかかわり・支援の基本			10時間
	障害の理解Ⅱ	医学的側面からみた障害の理解、障害の特性に応じた支援の実際			20時間
	こころからだのしくみⅠ	移動・移乗・食事・入浴・清潔保持・排泄・着脱・整容・口腔清潔・休息・睡眠に関連するからだのしくみ			20時間
	介護過程Ⅰ	介護過程の意義と目的・介護過程の展開・介護過程とチームアプローチ			20時間
	介護過程Ⅱ	介護職による介護過程の展開・実践的展開・施設、在宅で暮らす高齢者の介護過程、演習課題)介護老人福祉施設で生活する事例			25時間
	介護過程Ⅲ	介護過程の実践的展開、片麻痺・在宅での終末期・都会に住む一人暮らしの高齢者・介護老人保健施設等の利用者への生活支援			15時間
	医療的ケア	医療的ケア実施の基礎(安全な実施、関連する法制度や倫理、感染予防・安全管理体制)			50時間
実技	生活支援技術Ⅱ	利用者の心身の状態に合わせた介護、福祉用具等の活用、居住環境の整備			30時間
	介護過程Ⅲ	介護過程の実践的展開、片麻痺・在宅での終末期・都会に住む一人暮らしの高齢者・介護老人保健施設等の利用者への生活支援			30時間
	こころからだのしくみⅡ	人間の心理・人体の機能と構造、移動・移乗・食事・入浴・清潔保持・排泄・着脱・整容・口腔清潔・休息・睡眠・人生の最終段階のケアにおける観察のポイント			60時間
	医療的ケア演習	医療的ケア実施の基礎、喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)、経管栄養(基礎的知識・実施手順)、喀痰吸引演習(口腔・鼻腔・気管カニューレ内部)、経管栄養演習(胃瘻、腸瘻、経鼻経管栄養)、救急蘇生法演習			25時間
	実習事前事後講習	講義で学んだ内容を実習で活用するために介護技術の確認			10時間
	介護記録の書き方	計画書や報告書の書き方、ケアプラン等・利用票・提供票の意味			5時間
	振り返り	講義で学んだ知識及び技術の振り返り・修了評価			5時間
	企業実習	実施しない	<input checked="" type="checkbox"/> 実施する	※実施する場合、カリキュラムは別途作成し、総時間のみ記入してください。	
職場見学、職場体験、職業人講話	【職業人講話】	実施日 令和8年10月16日 内容:介護職に求められる接遇 「講師:有限会社ウェルフェア 総務課長」			5時間
	【職業人講話】	実施日 令和9年3月8日 内容:高齢者社会と地域包括ケア 「講師:有限会社ウェルフェア 総務課長」			5時間
	【職場見学】	通所系サービス・施設系サービスの現場見学 事業所:デイサービス笑顔、プライアンス御召覧、南洲の社、グループホームよしの村、愛光園 実施日:令和8年12月4日			5時間
訓練時間総合計	533時間	学科 343時間	実技 165時間	企業実習 10時間	職場見学等 15時間
受講者の負担する費用	教科書代	11,000円			合計 11,000円
	その他 ( )				
	備考 ( 企業実習先への交通費及び健康診断にかかる費用は実費 )				